

坂井健吉氏哀悼の辞

前沖縄おいもづるの会会長

いはかつお
伊波 勝雄

坂井健吉氏が、
2023年7月1日に
逝去されたとの訃
報を聞き、ことば
を失いました。甘
藷研究の巨星を亡
くし、これほどの
悲痛、無念さはあ
りません。



ここに、甘藷功労の偉業を讃え、ご冥福
を祈り、追悼の意を表します。

坂井健吉氏は、農学博士の肩書きをもつ
農学者であり、“コガネセンガン”ほか多
数の甘藷の品種育成者として全国的に知ら
れた人であります。

2005（平成17）年、「野國總管甘藷伝来
400年祭記念式典」において、沖縄県嘉手
納町から「野國總管甘藷功労賞」が授与さ
れました。

著書には、『ものと人間の文化史 さつ
まいも』（法政大学出版局）があります。
甘藷の歴史から製品加工、活用まであらゆ
る項目が網羅され、「サツマイモの誕生、
伝播、品種改良、栽培法、利用法、サツマ
イモにまつわる逸話」に至るまで大変興味
深い内容が配され、売れ行きも好評で、甘
藷不朽の名著として多くの方々に愛読され

ています。

出身は、三重県名賀郡上野市。1924（大
正13）年、農家の長男として生まれました。
依那古小学校、県立上野中学校、三重高等
農林学校を経て、1944（昭和19）年京都帝
国大学に入学されました。

今次大戦では、陸軍の見習士官として入
隊しましたが、戦後に復学し、1946（昭和
23）年12月15日に京都大学農学部農学科を
卒業しました。

卒業後は、農林省農事試験場の助手に採
用され、その後、鹿児島と熊本の農林省九
州農業試験場や千葉の農林省農事試験場勤
務となり、20年余サツマイモの品種改良に
取り組みました。1959（昭和34）年頃にな
ると、サツマイモは、戦中・戦後の食用と
しての用途やでん粉を中心とした工業原料



コガネセンガン坂井健吉氏と筆者

の需要が高まるにつれ、でん粉含有量が高くかつ多収性のあるサツマイモの品種を育成することが強く求められるようになりました。

坂井氏は、この要望に応えるため1956(昭和31)年、鹿児島農業試験地の主任に就き、サツマイモの高でん粉多収^{ぶんたしゅう}に関わる形質の遺伝的特性の解明と優良品種の選抜方法の改善に向けた研究を推進されました。

甘藷育種の研究は、農林省室長時代に始まり農業試験地が鹿児島から熊本への移転先で本格的な育種研究をスタートさせました。

坂井氏は、日本のこれまでの祖先種のわずかな品種の遺伝子から構成されていた甘藷育成品種から、外国品種や近縁野生種^{きんえん}を導入し、優良品種の組み合わせによる大量の種子を採種して育種の材料に用いる新しい育種法を開発しました。

研究室員12名は、7ヘクタールの圃場にある1500の試験区から収穫した、優良品種のイモのでん粉含有量の検定を精力的に行いました。

その仕事ぶりは、“猛烈育種^{もうれつ}”と呼ばれるほどであったといわれます。10年の歳月をかけた試行錯誤^{しこうさくご}の苦労と努力が実り、1966(昭和41)年、ついに高でん粉多収の画期的な“コガネセンガン”が育成されました。

コガネセンガンの命名の由来は、“コガネのように黄金色に輝くイモがざくざくと多収穫できる“ことから名付けられました。

このイモは、チモール島の品種と日本在来^{きた}の血が各4分の1、アメリカ品種の血2分の1が含まれたヘテロシス^{ごっしゅきょうせい}(雑種強勢)の品種として誕生しました。



甘藷の新品種コガネセンガンは、でん粉原料用甘藷の作付け拡大の原動力となり、作付面積では全国の3割、九州では5割を占め、生産費の切り下げにも成功しました。

ところが、1965(昭和40)年代に入ると、輸入トウモロコシの低価格ででん粉が出回り、甘藷の育種目標も原料用から生食用、加工用へと重点が移ります。

その後、生食用として1975(昭和50)年に命名登録された「ベニコマチ」は、コガネセンガンと高系14号の組合せで生まれた品種です。

坂井氏は、「事一人にして成らず」ということばの通り、多くの研究者や仲間の支えと協力のもとに、甘藷育種に大きな活路を開き、わが国の農業の発展に多大な貢献を果されました。

その業績に対して、日本育種学会賞、農林大臣賞、日本農業研究賞、農林水産技術^{くんざんとうずいほうしやう}会議会長賞、勲三等瑞宝章が授与されました。

坂井氏は、学生時代マラソンやラグビーで鍛えた体力や気力や健脚は90歳を越しても衰えを見せず、強靱ぶりを発揮しました。まさに超人です。

その鍛えた体力を活かし、毎日土にまみれ農に親しむ生活を送りました。茨城県取手市^{いばらきけんとり}の「市民農園」や「ふれあい農園」では、有機栽培の10種類の野菜を作り、生涯現役の営農家・農学者・好好爺としての健

在ぶりを遺憾なく発揮しておられましたが100歳を目前にして大往生を遂げ、学恩を残し、天晴れな生涯に幕を閉じられました。享年99歳。